

シリーズ・安全な実験

～試験管の扱い方～

試験管はしっかり洗わなければ薬品が残ってしまうため、実験で使用した際には結果が異なってしまう可能性があります。また、扱い方を間違えれば簡単に割れてしまい、とても危険です。試験管の扱いには注意しましょう。

■洗い方

試験管を洗う際は、台所用洗剤を使用するときれいに洗うことができます。少量の台所用洗剤を試験管の中に入れ、内側や外側を試験管ブラシで丁寧にこすりましょう。試験管の中が白く泡立つため、どこまで洗われているのかが一目でわかります。最後に、泡を落とすように水ですすぎましょう。また、仕上げとして、蒸留水ですすぐとよりきれいに洗うことができます。



図1 試験管を洗う

※台所用洗剤は界面活性剤が含まれているものを使用しましょう。界面活性剤は、試験管ブラシで試験管をこする際にできる傷を防ぐはたらきがあります。

■注意事項

ガラス器具は急激な温度変化に弱いため、簡単に割れてしまいます。例えば、数十秒だけ熱した試験管を水の中に入れると、試験管はいとも簡単に割れてしまいます。試験管を冷やす際は、ゆっくり冷やしましょう。また、試験管を加熱中に管内に液体が発生するような実験では、加熱部分に液体が入ると試験管が割れてしまうので、必ず加熱部分を上げましょう。



図2 熱した試験管を水に入れる

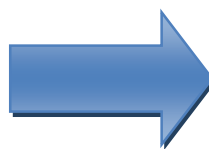


図3 割れた試験管

※もし実験中にガラス器具が割れてしまったら、非常に危険ですので、子どもには掃除をさせないようにしましょう。